

一般社団法人 火力原子力発電技術協会 発行  
会誌「火力原子力発電」2024年10月特別編集版特集号  
広告掲載のご案内

拝啓 貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

早速ですが、首題の件です。  
例年、年1回の特別編集版特集号として注目度が高い10月号は、各会員企業様のエンジニア・関連研究機関の研究者・学識経験者の方々からの寄稿を中心に編集され、非常に有益で興味深い記事が数多く掲載されます。そのため、各方面からも多くの高評価を得ています。

電力・エネルギー・発電関連事業に携わっている企業様、ぜひ貴社の貴重なる広告のご掲載をご検討ください。会誌「火力原子力発電」は電力・エネルギー・発電分野に特化し、深く絞り込んだ情報を発信している「ターゲットメディア」です。会誌部数は約13,000部（冊子配布+Eメール配信）を誇ります。そして、読者は業界に精通し製品購入決定権を持つ会員企業のエンジニア、経営者、営業マンの方々です。そのため、貴社情報（製品・技術・サービス）のリーチ（到達度）も素早いです。

不明な点は下記まで何なりとお問い合わせください。  
また、見本誌および説明が必要な場合などはお気軽にお声がけください。  
弊社HPにおいても情報を発信しておりますので、よろしく願いいたします。

敬 具

会誌「火力原子力発電」専属広告代理店

**株式会社クエスト**

〒162-0802 東京都新宿区改代町42番地 金森ビル1F  
TEL. 03-5579-2997(広告部直通) FAX. 03-5227-5517

<http://www.quest-inc.co.jp/>

桑田 茂雄

E-mail:kuwata@quest-inc.co.jp

2024年08月吉日

# 会誌「火力原子力発電」

## 2024年10月号 特集テーマ

### 「カーボンニュートラルにおける火力原子力発電の役割」

2050年のカーボンニュートラルの実現に向け、再生可能エネルギー（再エネ）の導入拡大が進む中で、火力発電は再エネのバックアップとなる供給力や再エネの出力変動に対応する調整力を担っています。また、水素、アンモニア、バイオマスといった脱炭素燃料やCCUSの利用による火力発電自体の脱炭素化も期待されています。

原子力発電については、国の「GX（グリーントランスフォーメーション）実現に向けた基本方針」の中で、安全性の確保を大前提とした活用が明記され、昨年「GX脱炭素電源法」として法整備がなされ、安定供給とカーボンニュートラル実現に寄与することが期待されます。

#### 予定記事内容

- 1章 : **カーボンニュートラル実現に向けた動向**  
国の方針などの全体像について解説。
- 2章 : **ゼロエミッション2050への挑戦**  
非効率石炭火力発電所の停廃止、石炭・LNGから水素・アンモニアへの燃料転換、再エネ導入による日本国内のネットゼロ挑戦について解説。
- 3章 : **カーボンニュートラル社会実現に向けた電力セクターにおける取り組み**  
バリューチェーン視点でのカーボンニュートラル社会実現と電力セクターにおける取り組み（燃料アンモニア、二酸化炭素回収技術）について解説。
- 4章 : **温室効果ガス排出量削減に向けた発電分野における取り組み**  
温室効果ガス削減に向けた発電分野の取り組みと、地熱発電、バイナリー発電、蒸気タービンの高効率化技術の紹介。
- 5章 - 1 : **水素焚き中小型GT普及のロードマップと燃焼器開発の最新情報**  
GT 発電装置のロードマップ、水素燃焼器に関する最新情報について解説。
- 5章 - 2 : **省エネルギー型CO<sub>2</sub>分離・回収システム**  
カーボンキャプチャーに関するロードマップ、最新情報について解説。
- 6章 : **ゼロエミッション火力と水素利用社会の実現に向けた取り組み**  
考案したゼロエミッション火力のコンセプトや水素関連の取り組みについて解説。
- 7章 : **ゼロカーボンビジョン2050の実現に向けた取り組み**  
火力のゼロカーボン化や水素の活用も含めた電源のゼロカーボン化、安全確保を大前提とした原子力の最大限活用に関する取り組み概要と最新状況について紹介する。
- 8章 : **発電システム技術のカーボンニュートラルに向けた取り組み**  
発電システム技術とカーボンニュートラル取り組みについて解説。
- 9章 : **リアリティのあるエナジートランジション実現の取り組み**  
既存インフラの脱炭素化ロードマップと水素エコシステム実現に向けた取り組み、CO<sub>2</sub>回収技術とCO<sub>2</sub>エコシステム実現に向けた取り組み、原子力事業ロードマップと革新炉開発の取り組みについて解説。
- 10章 - 1 : **新型軽水炉開発への取り組み**  
革新軽水炉、小型炉などの取り組みについて解説。
- 10章 - 2 : **遠隔作業を支援する3Dデジタルツインシステムの開発**  
遠隔作業を支援する3Dデジタルツインシステムの開発について解説。

2024年8月吉日

関係企業 御中

一般社団法人 火力原子力発電技術協会

会誌「火力原子力発電」発刊編集 & 広告担当 岩井 隆明

〒105-0014 東京都港区芝2-31-15 北海芝ビル

TEL 03-3769-3090(代) FAX 03-3769-3095

E-mail : iwai@tenpes.or.jp

## 会誌「火力原子力発電」2024年10月号への広告掲載のお願い

10月号は年1回の特別編集版特集号となります

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は当協会の事業活動につきまして、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

現在、当協会は個人会員約8,000名、法人会員約1,500社の多くの会員に支えられております。会誌「火力原子力発電」は、Eメール配信も含めて毎月約13,000部を発行し、会員の皆様に技術論文、入門講座、特集記事などで各種技術情報の提供を行っております。また、海外情報なども随時、発表しております。

日本のエネルギーを取巻く環境は大きな変化の時を迎えております。当協会は、発電技術の発達改善とその普及を通じて、人々の豊かな暮らしに欠かせない電気を支えてまいります。また、新しい取り組みとして、2017年からエネルギー関連のビジネス展示会「ゼロエミッション 火力発電EXPO」に共催として参画しております。

こうした中、協会では毎年恒例の会誌特集号を下記の通り発行することになりました。つきましては、発電関係業務を営まれておられる御社におかれましては当協会の諸活動にご理解をいただき、出費ご多端の折、誠に恐縮に存じますが、広告掲載を賜りたくお願い申し上げます。なお、広告に関するお問合わせ、お申し込みは下記の専属広告代理店までお申し付けくださいますようお願い申し上げます。

敬 具

### 会誌「火力原子力発電」2024年10月特別編集版特集号

進行スケジュール

広告申込締切日 2024年09月17日(火) / 広告原稿締切日 2024年09月20日(金)

広告掲載誌発行日 2024年10月18日(金)

専属広告代理店 株式会社クエスト <http://www.quest-inc.co.jp/>

〒162-0802 東京都新宿区改代町42

TEL. 03-5227-5516(代表) / 03-5579-2997(広告部直通) / FAX. 03-5527-5517

担当者：広告部 大谷恵子 (otani@quest-inc.co.jp)

# 「火力原子力発電」2024年10月号広告掲載申込書

株式会社クエスト 宛 (FAX. No. 03-5227-5517)

●下記の通り広告掲載を申込みますので、よろしくお願ひします。

媒体名	会誌「火力原子力発電」 (一般社団法人 火力原子力発電技術協会発行)
広告掲載月号	2024年10月特別編集版特集号
広告スペース (〇でお囲みください)	① 1C1P(前付普通頁) ② 1C1P(後付普通頁) ③ 1C1/2P(後付普通頁) ④ 4C1P(前付普通頁) ⑤ その他( )
広告掲載料金 (〇でお囲みください)	① ¥90,000 ② ¥75,000 ③ ¥45,000 ④ ¥160,000 ⑤ その他( ) *すべて外税
広告料金支払日 (〇でお囲みください)	① 前金支払( 月 日) ② 発行月末日支払( 月 日) ③ 発行月の翌月末日支払 ④ ご相談( )
広告料金支払方法 (〇でお囲みください)	・銀行振込 ・ご相談( )
広告原稿の制作 (〇でお囲みください)	・自社にて作成 ・(株)クエストに依頼 *別途制作費が発生します。詳細はお問合せください。
広告掲載申込日	2024年 月 日( )
広告掲載申込会社	
広告主	会社名： 住所：〒  担当者： E-mail： T E L： F A X：
専属広告代理店	会社名：株式会社クエスト 住所：〒162-0802 東京都新宿区改代町42 金森ビル1F 担当者：桑田 茂雄(kuwata@quest-inc.co.jp) ：大谷 恵子(otani@quest-inc.co.jp) T E L：03-5579-2997(広告部直通)/03-5227-5516(代表) F A X：03-5227-5517
備考	*消費税は別途です。